

# 日本医師事務作業補助研究会

## 第4回新潟県地方会 報告書

日時 2021年3月6日(土) 14:00-16:30

会場 ZOOM使用

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様いかがお過ごしでしょうか？

第4回新潟県地方会の活動報告をさせていただきます。

皆様のご協力によりまして、第4回新潟県地方会を開催することができました。

感染症対策でお忙しい中、また学会イベント等中止や延期が相次ぐ中、

ZOOM使用開催ということで全国北は北海道、南は沖縄まで116名の皆様からご参加いただきました。

地方会の詳細は下記を参照して下さい。

式次第は下記の通りです。

1. 開会の辞 (14:05-14:10)

新潟県立中央病院副院長 名村 理先生

2. 基調講演Ⅰ (14:15-14:50)

「医学知識 婦人科領域について」

新潟県立中央病院 副院長  
婦人科部長 大野 正文先生

(内 14:45-14:50 質疑応答)

《休憩 14:50-14:55》

3. 基調講演Ⅱ (14:55-15:25)

「医師事務も知っておきたい個人情報の取り扱いについて」

上越地域医療センター病院  
医療情報管理室 佐藤 邦夫様

(内 15:25-15:30 質疑応答)

4. 総合ディスカッションテーマ (15:30-15:50)

「個人情報保護の実例」

5. 日本医師事務作業補助研究会よりお知らせ (15:50-15:55)

6. 閉会の辞 (15:55)

新潟県立中央病院  
井上 雅子

参加者：116名（実務者43名、管理者他5名）（会員72名・非会員42名）

他、新潟県立中央病院3名、上越地域医療センター病院1名、新潟臨港病院1名

日本医師事務作業補助研究会本部1名

今回は「明日からの業務に自信を持って広げよう活躍の場」をテーマに開催しました。  
新潟県立中央病院名村副院長より暖かいが励ましの言葉をいただき開会となりました。

新潟県立中央病院大野副院長より「医学知識～婦人科領域」について講演いただきました。  
とてもわかりやすく、また医師が私たち医師事務に求める医学知識についてもご教授いただきました。  
婦人科で扱う疾患の概念から婦人科で扱う主な疾患について講演いただきました。  
私たち医師事務としてではなく、女性としての婦人科疾患に対する心構えができました。  
普段、当たり前のように医師の横で代行入力や診断書作成をしています。改めて正しい医学知識を持って医師事務業務大切さを学ぶことができました。  
今後も医学知識は新潟地方会の柱の一つにしていきたいと思えます。

その後上越地域医療センター病院の佐藤邦夫様より「医師事務も知っておきたい個人情報の取り扱いについて」ご講演いただきました。  
個人情報の取り扱いについては皆さんも病院に勤め始めたときや、年一回は各病院でも個人情報保護について学ぶ機会はあると思えます。  
改めてケースバイケースで取り上げてもらい復習することと、自院での対応に自信を持って行うことができるようになったのではないのでしょうか。

休憩をはさんだあとは総合ディスカッションを行いました。  
参加された皆さんにもリアクションで参加していただきました。  
今後はブレイクアウトセッションを行うことで、横のつながりができるような内容を企画したいと思えます。

2024年4月には働き方改革が医師にも適用されます。それに向け今から私たち実務者がしなければいけないことを一人一人が考え実行していくことが求められています。そのためにもこのような機会を定期的に、そして更に満足いく地方会を継続したいと思います。  
そして迅速な医療機関への開催通知と更に皆様の満足度向上を図れるように、ここに努力を誓い、第4回新潟県地方会の報告とさせていただきます。  
今後も皆様の御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

報告者 新潟県立中央病院 井上雅子